

独立行政法人大学評価・学位授与機構運営委員会(第8回) 議事要旨

1. 日 時 平成18年3月15日(水) 10:30~12:30
2. 場 所 学術総合センター1112会議室
3. 出席者 川口会長、浅井、阿知波、猪木、岡澤、岡田、荻上、神谷、北原、島田、田中、六車、安原、米山の各運営委員
木村機構長、荒船理事、長谷川理事、観山監事、馬場管理部長、加藤評価事業部長、ほか機構関係者
4. 役員及び教職員の異動の紹介について
事務局から、本年2月で異動のあった機構の役員、昨年10月で異動のあった機構の教職員について紹介があった。
5. 第7回運営委員会議事要旨について
確定版として配付された。
6. 議事
 - (1) 専任教員の選考について
評価研究部専任教員候補者1名及び国際連携センター専任教員候補者2名について審議が行われ、原案どおり承認された。
 - (2) 特任教員の選考について
評価研究部特任教員候補者4名について審議が行われ、原案どおり承認された。
 - (3) 客員教員の選考について
評価研究部客員教員候補者7名、学位審査研究部客員教員候補者4名及び国際連携センター客員教員候補者1名について審議が行われ、原案どおり承認された。
 - (4) 評価研究部長、学位審査研究部長及び国際連携センター長の選考について
評価研究部長、学位審査研究部長及び国際連携センター長について審議が行われ、原案どおり承認された。
 - (5) 各認証評価委員会委員及び各評価委員会専門委員の選考について
大学機関別、短期大学機関別、高等専門学校機関別及び法科大学院の各認証評価委員会委員の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。あわせて、大学機関別、短期大学機関別、高等専門学校機関別並びに法科大学院の各認証評価委員会専門委員及び国立大学教育研究評価委員会専門委員の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。なお、欠員補充などで緊急を要する場合には、会長に一任されるこ

ととなった。

(6) 学位審査会審査委員及び学位審査会専門委員の選考について

学位審査会規則の改正を含め学位審査会審査委員及び学位審査会専門委員の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。なお、欠員補充などで緊急を要する場合には、会長に一任されることとなった。

(7) 中期目標・中期計画等について

中期目標・中期計画及び平成18年度年度計画について、次のような意見交換及び審議が行われ、原案どおり承認された。なお、今後、修正等がある場合は機構長に一任することとされた。

(○：運営委員 ●：事務局 以下同じ)

- 認証評価の手数料は認証評価の経費に使うことになっているが、人件費の5%削減が運営費交付金に入ったとき、個々の認証評価は手数料の範囲内で実施できるのか。認証評価をどんどん受け付けても運営費交付金の人件費等を圧迫せずに、認証評価や学位審査を実施できるのか。
- 手数料の積算は実費となっており、手数料の増額の検討も必要だが、高額には出来ない。運営交付金でまかなう必要がある部分を明確にして文部科学省に対して増額要求することも考えている。
- 大学等が評価疲れしている中、モチベーションを上げるためには、手数料に関わらず評価結果を具体的な教職員の処遇や科研費の取得率等に連動させることができるといったメリットを示していくことも大切と考える。
- イギリスでは、分野別評価を必死で行っており、論文の質の向上などにつながったようだ。我が国における国立大学法人評価等においても、評価結果が組織改革につながるものであるべきと考えている。
- 平成20年度に向けて予算を要求していかないと、質を担保した評価ができないのではないかと。丁寧に行うに超したことはないが、予算とのバランスをどう考えるのか。
- 評価作業を踏まえきちんと積み上げて増額要求することになるだろう。
- いかに委員を増やそうとも、事務局の職員の数は決まっており、これを増やすことはほとんどできない。一刻も早くデータベースを構築し、事務局の労働を減らしながらやれる限界を探ろうと考えている。
- 機構としては評価が十分な形でできないようなものでは困るので、どのような体制でやるかを決めて要求を進めたい。

(8) 平成18年度予算について

平成18年度予算について審議が行われ、原案どおり承認された。

(9) 評価事業の状況について

評価事業の実施状況について報告があり、了承された。

- ・大学等の教育研究等の総合的状況に関する評価

- ・ 国立大学及び大学共同利用期間の中期目標期間の教育研究活動に関する評価
- ・ 大学情報データベースシステムによる情報の収集、整理、提供

(10) 学位授与事業について

学位授与事業の実施状況について報告があり、了承された。

(11) 役職員給与等の改正について

役職員の給与の改正について、実施内容の報告があった。

7. 機構長挨拶

機構長から、運営委員の任期が3月末日に満了するに当たり、挨拶があった。